

GOGOファンド

弘大が6件を採択

弘前大学は12日、地元企業との共同研究に研究費を交付する独自の基金「弘大GOGOファンド」に6件を採択したと発表した。通

算25件目となる。

335万円が助成されたあすなる理研(平川市)は、ソバモヤシに付着するパンテア菌の抗菌活性や免疫機能の活性化など高機能食材としての価値を明らかにすることを目指す。335万円が助成されたシステム・インスツルメンツ(東京都)は、「蛍光ブドウ糖」を使ったがん診断装置を開発する。40万円が助成されたエポックインターナショナル(八戸市)は、脳卒中で体の片側がまひした人が、排せつ時に片手で簡単に股部分を開けられる下着を開発する。49万円が助成された藤崎冷蔵商会(藤崎町)は、赤い果肉のリンゴ「紅の夢」で、内部の着色度を選別できる機械の実用化を目指す。160万円が助成された木村牧場(つがる市)は、県産飼料米とリンゴかすを与えた豚のブランド確立を

目指す。49万円が助成された合同会社エピコ(青森市)は、栽培漁業の養殖地・水槽で使ったための、小型風車による揚水ポンプを開発する。
(佐藤彩乃)

【東奥日報平成26年12月13日(土)24面掲載】

この画像は当該ページに限って

東奥日報社が利用を許諾したものです。